



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2015～2016年度 RI会長 K. R. ラビンドラン
RIテーマ 世界へのプレゼントになろう

クラブテーマ「明るく楽しいロータリー」会長 鈴木政則

副会長 中山和雄 幹事 石井邦夫

第1275回 例会 2016.5.13(金)晴

司会:山口辰哉君 指揮:勝又佳員君
ロータリーソング「奉仕の理想」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央町ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 ブケ東海三島
TEL.055-984-0120
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 鈴木政則君

最近では売上低下による倒産が増加していると聞きます。売上が低下している会社を見ると、体質改善・事業の多様化・扱い商品の絞り込み等各種の事業転換期にすべきチャレンジをしていないケースが多い様に思います。そこで今日は、これらの欠点をクリアする為の体質改善について少し考えてみたいと思います。企業の体質改善をする為には何が大事なのでしょう。人の上に立っておられる方々に対して、私ごときが申しあげる様な事ではないと思いますが、私が考えるには経営者が時代の先を読み、その時代の変化に対応できる経営方針を立て、実行していくしかないと思うのです。その為にはまずは先見性を身につける事が必要でしょうし、その先見性を身につける為には、社会情勢に常に気をくばっていなければなりません。経営環境や社会環境が今後どの様に変化していくのか、その将来を見すえ、今後自社の事業が社会的に見て有効か、自分の仕事がビジネスとして成り立つものかをよくよく考え、行動することが大事なのではないでしょうか。そして今までものを反省し、時には苦しくても全否定しなければ新しいものは生まれてこない場合もあります。改革意識を常にもって新しいことにチャレンジし、うまくいかない場合は、すかさずチャレンジを止める決断も必要でしょう。5年先・10年先はもとより数年先をも考えて、会社を改革しようとする意識がなければ、これから先の環境の変化にはついていけないと思うのです。もちろん、経営者は全責任が自分にあるということを常に自覚していないと改革意識など持てません。そして体質改善の一つの方法として将来をみつめ、先を読み、具体的に実行する、このチャレンジ精神で乗り越えて行きたいものです。

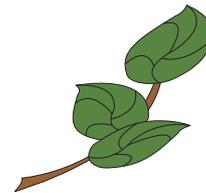
出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	28/34	82.35%	32/34	94.12%
今回	27/34	79.41%	会員総数	36名

欠席者

あなたが見えなくて残念でした。

石井(和)君、石井(司)君、内田君、遠藤君、篠木君、田中君、山口(雅)君



今日の料理



幹事報告

幹事 石井邦夫君

1. 例会情報

三島西RC 5月19日(木)→22日(日)

三島市国際交流フェア

2. 米山功労クラブ感謝状がまいりました。寄付金額が100万円を超えるたびに表彰されます。我がクラブは5回目です。

卓話 自分の年齢は自分で決める、人生の極意

小林 勝君

私 この2月でめでたく還暦をむかえました。還暦は人生の折り返し点といわれますが、年齢的に言えばとうに後半戦に入っています。野球なら7回の裏ぐらいです、この人生の後半戦をいかにすごすか考えましてある会を作ることになりました。

「自分の年は自分で決める会」です。具体的にいいますと私の年は28歳です、なぜ28歳かという20代前半はまだ青く経験不足は否めません、これが30歳ですともう大人で分別ある行動が求められます。

まだ分別ある行動には自信がないので28歳がちょうど良いのです。これを自分の年が60歳だと認識し続けると脳から身体と心に指令が行き「お前はもう60歳なんだからそんな事しちゃ駄目だよ」とか体力的にも「もう60歳なんだからそんな事すると怪我をするよ」と言ってきます。これではアグレッシブな後半戦はむかえられません、ですから脳に自分の身体は28歳なんだと言いきかせまだまだイケイケのやっちゃえ小林で行きたいと思えます。

そしてもうひとつ人生の後半戦は楽しく生きて行こうかとおもいます。楽しい時間はあっという間に過ぎるとおもいませんか？旅行に行った時など出発したかと思うとすぐに帰国日です。ところが反対に嫌なことや辛いことは時間がたつのが遅くかんじませんか？人生も一緒に楽しいと年をとりにません、辛いことばかりだと年をとるのが早いんです。私はこれからも楽しいことばかり考えて生きていきます。後輩のみなさまご協力お願いします。

第11回理事役員会報告

開催日 平成28年5月13日(金曜日) ブケ東海三島
出席義務者 鈴木政則・石井邦夫・矢岸貞夫・中山和雄・岡良森・加藤正幸・服部光弥・兵藤弘昭・内田憲一・石井和郎・杉山順一・米山晴敏

司会者 石井邦夫

議題

1・プログラム変更・石井幹事

～6月第1週まで変更はありません。

2・熊本震災について・鈴木会長

熊本震災の支援要請がありました、1人1,000円以上の寄付金(36,000円)を募り、クラブからの4,000円をプラスして40,000円を送る事を承認された。

3・国際奉仕委員会・兵藤委員長

次年度のタイ自転車贈呈式がスリオンRCと来年2月10日で決定しました、

詳細についてはスリオンRCと協議します。自転車贈呈式は承認されました。

4・その他

IM・矢岸実行委員長

追加予算が承認されていましたが、山本ガバナー補佐より『補佐予算から捻出する』と提案があり、当クラブからの特別予算は使わないこととなりました。

三島RC60周年記念GG事業協力について・米山

三島RCから国際グローバル補助金を使用しての奉仕事業に当クラブに協力要請がありました。当クラブは協力することで承認された。

スマイルボックス

加藤正幸君:みしまびと感の映画試写会(5/21土)菰山文化センターに見に行く予定です。どんな映画になったか楽しみです。

山本良一君:熊本地震の災害復旧工事に静岡ガスの要請により当社の社員が2週間行って来ました。1日も早い復旧を願っています。

兼子悦三君:年令が離れた澤田さんが元気に出て来てくれました。

澤田 稔君:年令が離れた兼子さんが元気に生存しているかどうか確認に来ました。

小林 勝君:本日卓話です。よろしくお願ひします。

杉山 隆君:休みが多くてすみません。又、会員増強お願ひいたします。小さな情報でもいただけたら私、杉山すぐ動きます。ぜひぜひよろしくお願ひいたします。

